

ほんものにつながる情報教育

～高大連携から地域貢献へ～

茨城県立鉾田第一高等学校
津賀宗充

本日の内容

- 昨年度の取り組みからの報告
 - 概要
 - 効果 …… 生徒の変化
 - 成果 …… 地域への影響
 - 活動の様子
 - 課題
- 今年度の取り組みの報告

プロジェクトの概要

- サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト
 - 「高校生の視座から考える茨城のまちづくり」
- 筑波大学社会工学類都市計画専攻と連携
 - 大学教員、大学院生の協力
- 本校生徒31名参加
 - 2学年 21名(男子12名、女子9名)
 - 1年次 10名(男子8名、女子2名)

効果 … 生徒の変化

- ICT活用を実感
 - 多様なICT機器の活用
 - デジタルカメラ、GPS、ICレコーダー
 - データ処理
 - GIS(地理情報システム)、表計算ソフトウェア
 - プレゼンテーション
- 問題解決型学習

成果 … 地域への影響

- 公開発表会
 - 参加者60名以上
 - 生徒の提案が実現へ
- まちづくり全国協議会への参加
- 地域へのPR
 - 新聞(茨城、朝日、常陽、東京、筑波大学etc)
 - テレビ(NHK)

スケジュール2007

7月26日	まちあるき 鉾田 まちづくりワークショップ	プレゼンテーション①	鉾田
8月7日	講義 都市計画・まちづくり概論 演習 人口・産業などの将来予測 演習 航空写真で見る地域の発展 演習 フィールド調査に基づくデジタル地図づくり		つくば合宿 (2泊3日)
8月8日	まちあるき つくば(筑波鉄道廃線, 学園都市地域等)		
8月9日	防災とまちづくり テーマ発表会	プレゼンテーション②	
8月24日	グループ作業		鉾田
8月25日	鉾田の将来とまちづくり 中間発表会	プレゼンテーション③	(2日)
10月30日	最終発表会	プレゼンテーション④	鉾田

まちあるき・演習・グループ作業

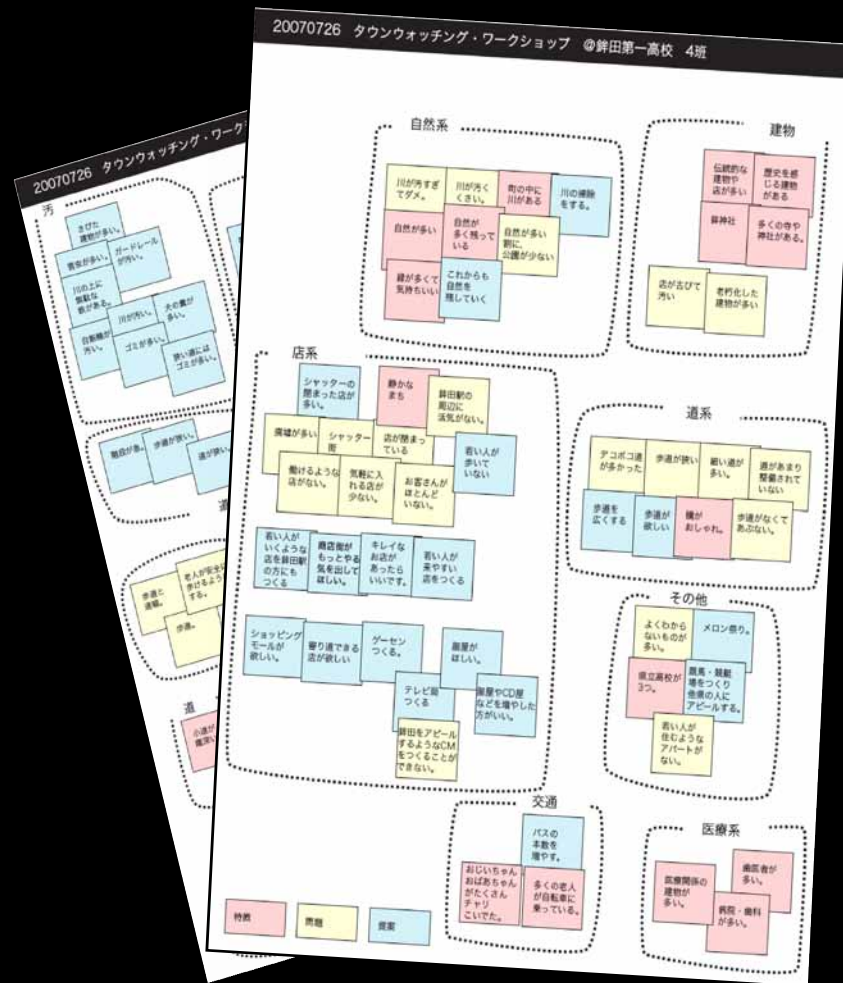


プレゼンテーション①



ワークショップ

KJ法を使って地域の抱える課題を整理



プレゼンテーション②



テーマ発表

自分たちが提案するテーマを決定

ホコタで"together"しようぜ... いいとも

現在の鈴田の活性化の課題として、人口過疎化、他交通の不便等1つ問題を抱えており、その中で商店街を活性化するのは、郊外の土地活用が有効な方法ではないかと考えた。しかし、計画本来の思考をより戻し、まちづくりの連続性が必要と考える。商店街に囲った周廻として合っている場所があり、情報発信を必要とする。郊外においては土地の有効な利用が活発な要素となる。

郊外には大きな土地がある。
↓
ならす

その土地を

- ・娯楽施設(パティオセンター)
- ・ショッピングセンター
- ・住宅 により、人を集める。

しかし....

ふくれば田んぼは土地をならしても建物を建てられない。

そこで、

ふくれば田んぼを掘りおこし溜池にして、昔の水煙を一本馬車できる所にする。

商店街の問題
として上がったのは、

- ・道が狭い馬車場が少ない
- ・客が少ない

それに対して、上がった解決策としては

- ・客の対象を歩行者中心にする。(ex. 学生、老人)
- ・商店街に学生が一体となったPR活動(ex. 看板、押しな店を紹介したい)
- ・通学路周辺の整備 (学生の意見を利した店作り)

まとめ
2つの地域の提案から鈴田を中と外からの視点で活性化をはかる。
中間発表に向けて、2つの視点から調査をする。

鈴木雄也・増淵勝也
伊東諒・膳村貴之
木川萬里・鈴木智美

プレゼンテーション③



中間発表

自分たちの提案の方向性を報告

歩行者の安全のために...



- 中心部を一方通行に...
- 循環するように....

混乱しないように

鉾田市の概要

■ 農業が中心

- 農業生産額 524億9000万円
(工業生産額 48億8581万円)

平成18年度 全国工業生産額 全国第1位

■ 特産物⇒メロン

- メロン産出額
鉾田は全国1位 (夕張市の4倍)
☆野菜全般が第1位



食の彩都 BARAKI http://www.ibaraki-shokusai.net/index.htmlより

プレゼンテーション④



公開発表会



参加者

鉾田市、商工会、地域のNPO

同窓会、後援会、父兄、友人

茨城県教育委員会、近隣の高校教員

昨年度の取り組みの課題

- グループによる取り組み状況の差
 - 異学年混在の弊害
 - 生徒間のコミュニケーション
- 目的意識の喪失

